

『講演会ビデオ上映会』

白山市発達相談センターでは、発達障害に関する様々な研修会を行っています。
今回は「良かった」「もう一度聞きたい」というお声を多数いただいた、
当センター主催で行った2つの講演会の録画上映会を行います。



【日時】 2019年8月2日(金) 第1部 10:00開始 第2部 13:00開始

【場所】 白山市福祉ふれあいセンター 2階 視聴覚室

【対象】 テーマに関心のある方はどなたでも

申込み不要

第1部 10:00-11:50 「読み書き障害のある子どもたちの理解と学習支援」

講師 河野 俊寛先生(金沢星稷大学 人間科学部教授)

読み書き障害とは、知的機能の発達には遅れがなく、視力、聴力、育った環境、受けた教育いずれにも問題はないのに、文字の読み書きに困難がある「学習障害」の一種です(読み書きが全く出来ないというわけではなく、正確にスラスラとは出来ない状態)。読み書き障害のある子どもは全体の2.5%程度いると言われています。

読み書き障害の子が「自分が出来なかったのは、努力不足ではないのだ」と気づくこと、必要に応じてなるべく早くに代替支援を行うこと、「他の子と同じように読み書きできるようになる」ことを目指すのではなく、その子に合った方法で知識を増やし、自分の考えを第三者に伝えられる方法を獲得していくことの大切さについてお話いただいています。

第2部 13:00-14:00 「はたらくために“いま”からできること

～生きづらさと育てづらさをのりこえて～

講師 水戸 勇佑氏(大人の発達障害を明るく語る会 こころぼ)

水戸さんは大人になってから発達障害のひとつである注意欠如・多動性障害(ADHD)の診断を受けられた方です。現在は、自分の障害を会社や周囲に公表し、金沢市内で一般企業に勤務しながら、「大人の発達障害を明るく語る会 こころぼ」を主宰されています。今回は水戸さんに自身の子ども時代の様子、学校時代に感じていた生きづらさ、両親が抱いていた本人への思い、趣味や活動から得たもの、就職してから診断を受けるまで、自分の強み等について語っていただいています。また子ども時代に「(周囲の大人が)こうしてくれたら嬉しかった」ことについてもお話いただいています。当事者の方のお話を聞くことができる貴重な機会です。学齢期のお子さんに関わる大人の方にもぜひ聞いていただきたいお話です。

【主催・お問い合わせ】

〒924-0865 白山市倉光八丁目16番地1

白山市発達相談センター 076-276-8819